

中国・アジアダイジェスト

新型コロナ with CORONA

5月18日(月) □
■コロナ影響一衛星で解析
日米欧・宇宙局

JAXA、NASA、欧州宇宙機関は、新型コロナの影響を地球観測衛星で撮影した地球上の画像から調べたデータを30-31日に開催。感染経路や都市や生態系への影響を推測。(18面)

5月19日(火) □
■戦後最大の危機一景気
GDP年3.4%減/1-3月

1-3月期のGDPが、年率換算で3.4%減と2四半期連続のマイナス成長となり景気後退の色彩が一段と濃くなった。新型コロナで、戦後最大とも言える危機に直面している。(2面)

5月20日(水) □
■新型コロナ20秒で検出
理研、開発に着手

理化学研究所は、新型コロナウィルスの新たな検出方法の開発に着手する。約20秒で検出。強い蛍光を発する分子を使う。現在使われているPCR法は数時間かかる。(1面)

住設一納期遅れ解消へ
中国で生産再開

新型コロナで、中国からの部品調達に滞り、住宅設備メーカーの納期が遅れが解消へ。トイレやキッチン周りの受注を停止。中国での生産再開で、納期を確定できる状況。(13面)

5月21日(木) □
■外資系企業の活動緩和
企業誘致再取り組み

アジア各国では、新型コロナがピー

緊急事態宣言全面解除の放送が流れる新宿アルタビジョン(東京都新宿区=5月25日)



クを越え、経済活動の再開が徐々に目立ち始めた。国内経済立て直しや進出外資企業への支援策を打ち出す。企業誘致の再取り組み。(4面)

5月22日(金) □
■緊急事態一関西解除
経済再開/最終段階

新型コロナで停滞していた経済活動の本格的な再開に向けた政府の取り組みが、最終局面に入る。大阪府、京都府、兵庫県の関西3地域への緊急事態宣言を解除した。(1面)

大阪府知事「新たなステージ」
経済を回復させる

大阪府の吉村洋文知事は、緊急事態宣言の解除で「感染拡大を抑えることができた。これから新たなステージとして、感染対策をとりながら経済活動を回復させる」と力を込めた。(2面)

大商會頭「支援策、迅速に」
関西経済連合会・松本正義会長が

「経済活動再開と感染予防を両立させる新しいフェーズに」。大阪商工会議所・尾崎裕会頭は「支援策が迅速に届けられるように」。(3面)

日本の損失52兆円
新型コロナ長期化/A&B試算

アジア開発銀行・沢田康幸チーフエコノミストは、新型コロナの収束が遅れた場合「長引く経済封鎖などで金融危機の恐れ」と景気悪化に警戒感。日本は最大52兆円の損失。(2面)

PCR検査キット配送支援
インドネシア/デンソー

デンソーは共同で、インドネシアで新型コロナウィルスを検出するPCR検査キットの配送支援を始めた。小型冷凍車を無償提供、医療機関や検査機関などに配送する。(7面)

新型コロナ治療薬一実用化へ
早期承認に前向き

新型コロナ治療薬の実用化への動きが活発だ。政府は「レムデシビル」を



PCR検査キットを配送する小型冷凍車(デンソー)

特約承認。富士フィルムの「アピガン」も承認する方針。治療薬の早期承認に前向きだ。(13面)

5月25日(月) □
■日銀、中小支援30兆円
金利ゼロ/信金などに資金

日銀は、新型コロナで資金繰りに困る中小企業や、個人事業主を支援する30兆円規模の資金供給制度。信用金庫や信用組合をなどに、日銀が期間1年以内・ゼロ金利で資金を出す。(1面)

5月26日(火) □
■緊急事態一全面解除
感染拡大が沈静化

政府は、新型コロナ感染拡大が沈静化したとして東京都、神奈川県、北海道など5地域の緊急事態宣言を一斉に解除した。これで全都道府県への緊急事態措置がすべて解かれた。(1面)

「新しい生活様式」継続要請
経済再開、段階的に

緊急事態解除で首相は「新しい生活様式」の実践をあらためて要請した。また、各地の感染状況を点検しながら段階を経て、経済活動を再開させていく方針だ。(1面)

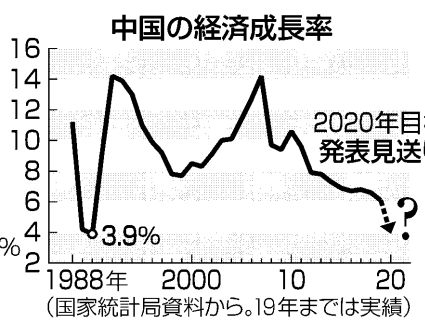
CHINA

5月19日(火) □
■金一初の6000円/東京
米中対立の再燃/NY高

東京の金先物は、2021年4月物の終値が177=6084円となり、上場以来初めて6000円台をつけた。米がファーウェイに輸出規制強化。米中対立の再燃が高まりNY金が高幅高。(19面)

5月25日(月) □
■中国、成長目標見送り
全人代が開幕/コロナ打撃

新型コロナで延期されていた中国の全人代が、北京の人民大会堂で開幕。新型コロナによる経済への打撃は深刻で、今年の経済成長目標の公表は見送られた。(時事=3面)



中国の経済成長率
2020年目標発表見送り

5月26日(火) □
■中国産輸入化学品、不当販売
仮決定/財務省・経産省

財務省と経済産業省は、中国産トリス(クロロプロピル)ホスフェートの輸入に対する不当販売開税についての調査で、ダンピングや日本企業への損害が推定される仮決定。(4面)

5月27日(水) □
■工作機械一中国が復調
4月/2カ月連続増加

中国で工作機械の受注が回復基調に入りつつある。4月の工作機械受注(確報値=日本工作機械工業会)が前月比27.5%減となる中、中国は2.3%増の115億円で2カ月連続増加。(1面)

中国新車一日系回復傾向
3.7%減/40万4676台

日系自動車6社の4月の中国新車販売は、前年同月比3.7%減の40万4676台。新型コロナで2月は同約8割減、3月は同約4割減と大きく落ち込んだが、回復傾向がより鮮明に。(6面)

日系自動車メーカー	中国新車販売
社名	4月
トヨタ	142,900 (0.2)
日産	122,846 (1.1)
ホンダ	113,430 (▼9.6)
マツダ	17,091 (1.0)
三菱自	6,715 (▼41.2)
SUBARU	1,694 (▼23.8)

単位台。カッコ内は前年同月比増減率。▼はマイナス

中国一止まらぬ「軍拡」
コロナ禍/「力の空白」突く

中国の軍備拡張が止まらない。2020年の国防費は前年比6.6%増の約20兆円に。日本の4倍。新型コロナで各国が身動きの取れない中、経済力も背景に中国の既成事実化が進む。(2面)

5月29日(金) □
■香港「一国二制度」危機
反体制活動規制/中国

中国の全人代は、反体制活動を厳しく取り締まる「国家安全法」を香港に導入する方針を採択、閉幕。高度な自治を保障する「一国二制度」の有名無実化が進むことは確実。(時事=2面)

中国向け輸出「底打ち感」
日本にもプラス/西村再生相

西村康稔経済再生担当相は、中国向けの輸出は「底を打った感がある」との認識を示した。「中国経済が回復基調にあることは、日本経済にもプラスになる」と期待感。(2面)

住商、EMS新工場
日系車載・家電/無錫

住友商事は、大日光・エンジニアリングと、江蘇省無錫市でEMSの新工場を建設する。華東地区の車載や家電分野向け。無錫市は1000社以上の日系企業が進出。(4面)

6月2日(火) □
■日本電産、吉利に供給
新型EV/駆動用モーター

日本電産のEV駆動用トラクションモーターシステムが、中国・吉利汽車の新型EV「几何C」に採用された。モーター、インバーター、ギアの一体化で小型・軽量化。(6面)

6月4日(木) □
■神鋼、中国企業を子会社化
圧縮機/化学プラント向け

神戸製鋼所は、圧縮機事業を展開する中国・無錫圧縮機股份有限公司を子会社化。株式追加取得し7割に。中国では中長期的に石油精製や化学プラントの建設が見込まれている。(6面)

6月5日(金) □
■中国旅客機、乗り入れ禁止
米が対抗措置

トランプ米政権は、中国の航空会社に、米国を発着する国際旅客機の乗り入れを16日から禁止する。米航空会社が中国便の運航再開を中国当局に拒否されたため。(時事=4面)

6月8日(月) □
■中国新工場一日本から管理
リコー、DX加速

リコーは、中国新工場に日本で品質を確認できる生産の遠隔管理システムを導入する。さらに部門横断型の標準RPA開発に着手、社内DXを推進する。(1面)

トヨタ、燃料電池で中国合併
商用車用/一気など5社

トヨタ自動車は、中国・第一汽車、

東風、広州など5社と商用車用の燃料電池を研究開発する合弁会社を設立する。中国では商用車を中心に燃料電池車市場が拡大している。(3面)

6月9日(火) □
■タカラバイオ、中国依存下げる
日米欧印/製造・R&D拡充

タカラバイオは、新型コロナや米中摩擦を機に、試薬や装置製造の中国への依存度を引き下げる。中国への大型投資を止め、日米印、スウェーデンの製造・R&D拠点を拡充。(10面)

6月10日(水) □
■キャセイ航空一香港政府が救済
39億/2人派遣

香港政府は、キャセイ・パシフィック航空に、300億香港ドル(39億ドル)規模の救済策を取りまとめる。取締役会にオブザーバー2人を派遣する。公的融資と出資が含まれる。(時事=3面)

6月11日(木) □
■ホンダ、中国合併
コネクテッドカー関連

ホンダは、中国ソフトウェア開発会社ニューソフトリーと、コネクテッドカー関連の合弁会社を設立した。ホンダの車載システムを主体にビッグデータやAIを活用し開発。(3面)

6月16日(火) □
■昭和電工、上海で増産
VE・ME2倍/5G向け電子材

昭和電工は、上海のグループ会社で、ビニルエステル樹脂と合成樹脂エマルジョンの生産設備を増設、生産を始めた。生産能力はそれぞれ約2倍に。5G向け電子材料が好調。(12面)

6月17日(水) □
■5G基準、ファウエイと協力
設計・仕様/米商務省

米商務省は、5Gの設計や仕様など国際標準規格の策定をめぐる、中国通ファウエイと米国企業の協力を容認する新規則。5Gの基準作りに限って技術の開示を認める。(時事=4面)

TELOP

■運行情報、4カ国語で掲示
日英中韓/国交省(19日4面)

■中国脅威に同盟国の結束確認
防衛相、電話会談を活性化(20日2面)

■半導体に新たな混乱
米/ファーウェイ制裁強化(25日10面)

■中国で線材圧延機3基受注
英プライメタルズ(27日7面)

■香港代理店を完全子会社化
日立ハイテク(27日9面)

■ファーウェイの主張棄却
米国引き渡し/カナダ(時事=29日4面)

■ケア21、介護で中国に進出
ベトナム・インドでも展開(12日1面)

■三菱UFJ銀、中国債券の決済
邦銀で初/日本語で取引(17日23面)

ASIA

5月18日(月) □
■韓国輸出規制「総合的に評価」
さまざまなレベルで協議

梶山弘志経産相は、韓国向けの輸出規制について「総合的に評価して運用」との見解を改めて示した。韓国は5月末をめどに緩和を求めている。経産相は「さまざまなレベルで協議」。(2面)

5月21日(木) □
■台湾総統「一国二制度」拒絶
蔡英文氏/2期目入り

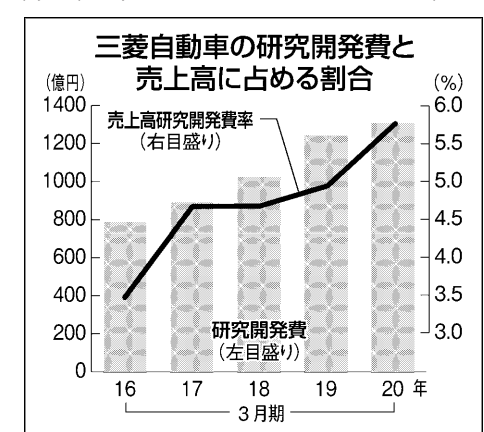
台湾の蔡英文総統は、2期目入りした。中国について「北京当局が『一国二制度』で台湾を矮小化することを受け入れない」と強調。中台統一方針を改めて拒絶した。(時事=4面)

5月22日(金) □
■成田一バンコクに貨物便
週4往復/日航LCC

日本航空の中長距離LCCジップエアトキョーは、成田-バンコクに旅客機を使った貨物便として初就航。旅客便として就航が不明。逼迫する航空貨物に対応し週4往復。(15面)

5月25日(月) □
■リハビリロボ一東南ア開拓
サイバーダイン/タイなどで認証

サイバーダインは、東南アジアを中心に身体装着型ロボット「HAL」の海外展開を加速する。マレーシア、インドネシアとタイで医療機器承認を取得。台湾やインドなどでも。(8面)



三菱自動車の研究開発費と売上高に占める割合

5月27日(水) □
■三菱自、東南アに軸足
拡大路線見直し

三菱自動車が、拡大路線の見直しに着手する。主力の東南アジアに軸足を絞った事業戦略。コスト改革を優先。その後は収益力改革に軸足を移す。研究開発費にも切り込む。(6面)

5月28日(木) □
■日工、タイに新工場
アスファルト製造プラント

日工は、タイに道路舗装に用いるアスファルトの製造プラント工場を新設する。アスファルトプラントで年30台。インフラ整備が進むASEANに適した中小型製品。(12面)

6月2日(火) □
■出入国制限一4カ国緩和へ
ベトナム・タイ・豪州・NZ

新型コロナによる出入国制限で、政府はベトナム・タイ・豪州・ニュージーランドの4カ国を軸に、緩和に向けた交渉を進める考え。実現すれば緩和第1弾となる。(2面)

6月3日(水) □
■韓国、WTO手続き再開へ
半導体材料3品/輸出管理強化

韓国は、日本による半導体材料3品目の輸出管理強化をめぐる、2019年11月に停止していたWTOへの提訴後の紛争解決手続きを再開する方針を示した。(時事=2面)

6月4日(木) □
■WTO提訴一韓国に抗議
茂木外相/解決に資さない

茂木敏充外相は、韓国外相と電話会談。日本の対韓輸出管理強化をめぐる、韓国がWTO手続き再開について、茂木氏は「懸案の解決に資さず、極めて遺憾」と抗議。(2面)

6月5日(金) □
■住商、東南ア旅客鉄道に参画
フィリピンで出資

住友商事は、フィリピンのライトールマニラの株式約19%を取得。約64億円。同社は「LRT1号線」の運営・保守。住商にとって、東南アジアで初めて運営参画する旅客鉄道。(4面)

6月5日(金) □
■日鉄の資産現金化一韓国
元々徴用工、訴訟

韓国大法院が、元徴用工、訴訟で、日本製鉄の資産を差し押さえ決定をネット上に掲示する「公示送達」の手続き。資産を売却・現金化する手続きが本格化する見通し。(2面)

「中国・アジアダイジェスト」面
次回は7月20日に掲載します。

6月11日(木) □
■航空業界の損失一世界9兆円
コロナで急減/公的支援必要

国際航空運送協会(IATA)は、2020年の世界の航空業界の損失が843億ドル(約9兆円)に上るとの見通し。新型コロナで需要急減。公的支援の必要性を訴えた。(時事=4面)

6月12日(金) □
■ウイルス検体、検査機関に輸送
インドネシア/トヨタM基金

トヨタ・モビリティ基金は、新型コロナに関する支援を東南アジアや欧州で始めた。インドネシアでは、ウイルスの検体を検査機関に効率的に運ぶオンデマンド型の輸送サービス。(7面)

6月18日(木) □
■塩ビ樹脂、5月輸出5%増
5カ月ぶり/中印が再開

塩ビ樹脂の5月輸出量は、前年同月比5.1%増の4万3740トンで、5カ月ぶりに増加。主要輸出先のインドで新型コロナのロックダウンが段階的に解除、中国の経済の再開も寄与。(11面)

6月19日(金) □
■トヨタ、中国で挽回生産
当初計画153万台規模

トヨタ自動車は、2020年の中国生産を当初計画の153万台規模まで挽回生産する計画。新型コロナで挽回工場を1月から止めたが、新車販売の復調で6月から10%以上の増産体制。(1面)

6月8日(月) □
■官房長官、韓国に警告
元徴用工、訴訟

菅義偉官房長官は「差し押さえ資産の現金化は、深刻な状況招く」と警告した。「明確な国際法違反と考える」。引き続き毅然と対応。(2面)

6月10日(水) □
■パナソニック、売却また延期
太陽電池/マレーシア工場

パナソニックの太陽電池事業の一部売却が、7月1日に再延期。マレーシア工場と研究開発部門を中国・GSソーラーに売却予定。中国当局の外国送金の審査遅れやコロナが影響。(12面)

6月10日(水) □
■SGHD、台湾で事業拡大
HCTと国際一貫物流

SGHDは、台湾での事業拡大を狙い、現地・新竹物流との連携を強化。HCTが合弁会社の出資を受け、社名や役員体制も改めた。車両や倉庫を共有、国際一貫物流を提供する。(13面)

6月11日(木) □
■東ソー、韓国でシリカ生産
低燃費タイヤ用

東ソーは、韓国で低燃費タイヤ用シリカの生産を2021年始める。韓国・南海化学と合弁会社。グローバル生産能力は約35%増。南陽事業所に続き2拠点目。BCP対策の一環。(11面)

6月17日(水) □
■アンモニア燃料の船用供給
伊藤忠商事など/シンガポール

伊藤忠商事などは、VOPAKターミナルシンガポールと、シンガポールでアンモニア燃料の船用供給に関するサプライチェーン構築に向けた共同研究に取り組む。(4面)

6月18日(木) □
■マイクロテクノ、ベトナム量産
バルブ・スプール/現地日系向け

マイクロテクノは、ベトナムで新規顧客向けに油圧制御部品の本格生産を始めた。現地の日系自動車部品メーカー向けにエンジン用油圧制御部品のバルブ・スプールを量産する。(6面)

6月18日(木) □
■プレーカー、東南ア2国参入
パナソニック/売上高8割増

パナソニックは、インドネシアとフィリピンでプレーカー事業に参入する。配線器具事業の既存拠点を活用。東南アジアを軸に電路事業の売上高を8割増の約800億円に。(8面)

TELOP

■広島銀行、ベトナム事業支援
県内の環境関連企業(28日17面)

■会計クラウドにタイ語翻訳機能
東計電算/日系企業向け(5日9面)

■サンデン・リテール、比に新社屋
冷蔵・冷凍技術開拓(3日7面)